

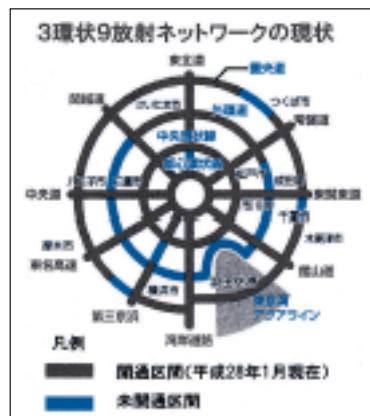
# 圏央道

## 境古河IC～つくば中央IC プラント火入式で工事の 安全祈願



6月8日、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)境古河IC～つくば中央IC間の舗装工事を前に、坂東市矢作のアスファルトプラントで火入式が行われ、坂東市長をはじめ沿線自治体の首長、国、ネクスコ東日本及び工事関係者など約150人が工事の安全を祈願しました。

境古河IC～つくば中央IC間の28.5kmの区間は、平成28年度中の開通に向けいよいよ舗装工事が始まります。この区間が開通すると、東名・中央・関越・東北・常磐・東関東の6つの高速道路が郊外で結ばれることになります。



まちづくり  
坂東市長 吉原英一



## 観光交流センター まちなか グランドオープンに まちなか 交流センターの グランドオープンに むけて

新たな中心市街地活性化の拠点となる施設として整備を進めてきました。観光交流センター秀緑が、この秋グランドオープンを迎えます。観光交流センターでは、陶芸・木工体験のほか、3Dプリンター体験といつものづくりを楽しめる工房スペースを準備しています。また、先行営業を開始しているガラス工房では、

琉球ガラス工芸協同組合との包括的連携協定による技術提供を受け、坂東市の新たな特産品となる工芸品の開発に向けて指導員の育成を行うなど、グランドオープンに向け継続的な取り組みを行っています。その他、講演会や会議が行える多目的ホールや、子どもたちに大人気のアルパカ2頭、ミニチュアホース1頭を飼育する予定で、坂東市の新たな癒しの場となるふれあい広場などの整備を進めています。

(旧ハルワカ)では、市内外の特産品、名産品の販売やガラス細工など工芸品の展示販売を行います。また、天ぷらなどの食品サンプルづくり体験が行えるほか、2階は市民ギャラリーとして、作品展などが開催できるスペースをご用意します。

坂東まちづくり株式会社は、中心市街地の活性化を中心とし、民間活力を活かし基幹産業の農業や工業など各種産業間の連携を促し、運営していくために、本年4月に設立されました。施設オープンに伴い、年間40万人を超える茨城県自然博物館の来場者を中心市街地へと呼び込み、賑わいを創出するためには、効果的、多様な手法を講じて多くのみなさんにご案内することが重要な課題となっています。来年3月に圏央道坂東インターチェンジが開通することにより、都市部からのアクセスが増えることを想定して坂東市の観光PRもさらに強化し、来場者の增加を図り、集客・回遊及び観光の誘客促進など、今後も、商店街の活性・賑わいづくり・市のイメージアップに努めていきますので、市民のみなさんのご協力をお願いします。